

川崎の 社会福祉

川 崎 市
社 会 福 祉 協 議 会

2018.07
J u l y

夏

No. 582



平成29年実施「チャレボラ」【関連記事2面】
川崎市内在住・在学の小学生から大学生までを対象にした
ボランティア体験学習「チャレボラ」は今年で12年目を迎えました！

「チャレボラ」は、今年で12年目を迎えました！

2P

社協のしごと～各区訪問介護支援事業所～

3P

平成30年度 川崎市社会福祉協議会事業計画・予算

4～5P

「九都県市合同防災訓練」開催のお知らせ

5P

社協が一丸となって取り組む「地域包括ケアシステム」
～地域包括ケアシステム推進連絡会議キックオフ～

6P

平成30年度協賛会員の募集

6P

川崎市社会福祉協議会ホームページのご紹介

7P

寄付御礼

7P

インフォメーション

～川崎市高齢社会福祉総合センターからのお知らせ～

8P



川崎の社会福祉
イメージキャラクター「ななまるくん」

Contents

「チャレボラ」は、今年で12年目を迎えました!

～川崎市内在住・在学の小学生から大学生までを対象に、夏休み期間中にボランティア体験をしてもらう事業です～

これまでの
述べ参加者
2,876名

「夏休み福祉・チャレンジボランティア体験学習」略して「チャレボラ」は、たくさんのプログラム(子どもや高齢の方、障がいのある方とのふれあいや、環境、地域のイベントなど)の中から体験したいプログラムを選んで活動します。

「チャレボラ」の流れは、「福祉って何だろう?」「ボランティアって何すればいいの?」という素朴な疑問を解決するところから始まります(STEP1:オリエンテーション)。次に実際に施設や地域での活動に参加することで新たな発見をしてもらいます(STEP2:選択プログラム体験)。最後に、参加者同士で自身が体験したことを振り返ってもらいます(STEP3:まとめの会～修了式)。この3つのSTEPを経ることで単なるボランティア体験だけでは終わらず、貴重な経験としてその後の生活に活かしてもらうことができます。例えば、「この事業をきっかけにボランティアへの関心が高まり、新たに地域のボランティア活動へ参加しました」という嬉しいお便りも届きました。

参加者を受け入れてくださる施設や団体の皆様につきましては、お忙しい中温かい対応・見守りをしてくださり、本当にありがとうございます。今後も小学生から大学生までの皆様が参加したいと思えるような企画・運営に努めていきたいと思ひます。

■お問い合わせ ボランティア活動振興センター TEL:044-739-8718

居場所から就労(社会)への懸け橋

27年前から川崎市内で不登校・ひきこもりの子ども・若者や親の支援に取り組んできた「NPO 法人フリースペースたまりば」は、4年前に市からの委託で、川崎若者就労自立支援センター「ブリュッケ」を開設しました。ブリュッケは、ドイツ語で「懸け橋」。生活困窮で、ひきこもり状態にある29歳までの若者を対象に、ひきこもりから居場所へ、居場所から就労(社会)へと繋がる「懸け橋」になればという想いを込めて名付けられました。

「貧困の連鎖」の中で、若者たちは複合的な問題を抱えています。まず大事にしているのは、居場所に来て、昼食をつくって食べるということ。ご飯を炊く。野菜をカットしたり、肉を炒めたりというあたりまえの暮らしを取り戻す。食卓を囲んで仲間と一緒に食べる。「おいしいね」と語り合える仲間がいる。初めて手にするギター

やパソコン。スポーツセンターで汗を流し、電車やバスに乗って出かける体験をする。ゲーム製作などいろいろな分野で働いている人の話を聞く。様々な出会いや体験を重ねながら、ゆるやかな人間関係を育んでいく。居場所の中で安心が広がると、自然と自分の中に「やってみたい」という意欲が広がってくるのです。「こんな自分でも働けるかな」そんな声に寄り添いながら、地域の中小企業を一軒一軒まわり、理解ある経営者を発掘していきます。その人の特性にあった、オーダーメイドの就労支援。若者の就労を地域で支える仕組みづくりに取り組んでいます。

川崎市社会福祉協議会第4期地域福祉活動推進計画策定委員
NPO法人フリースペースたまりば理事長
川崎市子ども夢パーク所長
川崎若者就労自立支援センター「ブリュッケ」総合アドバイザー
西野 博之

社協のしごと

②② 各区訪問介護支援事業所

～たいせつにしたいみんなの輝く笑顔～

本会では川崎市内7区にて訪問介護支援事業所を運営しています。介護保険法によるサービス(訪問介護・居宅介護支援)・障害者総合支援法における障害福祉サービス・おたっしゅサポート(自費サービス)の提供及び人材の育成・確保を目的とした講座を行っています。

訪問介護(介護保険)

ご利用者の自宅に訪問介護員(ホームヘルパー)が訪問し、身体介護や生活援助、そのほかご利用者の生活に関する相談や助言を行います。どのようなサービスを行うかは、あらかじめケアマネジャーやサービス提供者、ご利用者様やご家族様と相談の上決定され、決められた時間に必要なサービスを行います。

対象 要介護・要支援・事業対象者の認定を受けた方
内容 (身体介護)入浴・排せつ・食事等の介護
(生活援助)掃除・洗濯・調理等の家事

居宅介護支援(介護保険)

ケアマネジャーがご利用者様やご家族様の意向、並びにご利用者様の心身状態に応じて、在宅で自立した生活を送られるよう、必要なサービスが利用できるようなケアプランの作成や必要な調整を行います。

対象 要介護1以上の認定を受けた方
内容 ・要介護認定申請代行及び更新認定の申請手続き
・在宅介護、在宅生活に関する相談援助
・ケアプラン(居宅サービス計画)の作成
・関係事業所との連絡調整

障害福祉サービス(障害者総合支援法)

ご利用者が可能な限り在宅において、その能力に応じて自立した生活を送ることができるよう、障害者総合支援法に基づいた各サービス(居宅介護・重度訪問介護・行動援護・同行援護サービス)及び川崎市障害児・者移動支援サービスを提供しています。



おたっしゅサポート(自費サービス)

公的制度では対応できないサービスを自由契約(有料)で提供しています。

対象 本会の訪問介護サービス、障害福祉サービスのご利用者様
内容 ・病院などの付添い
・通院介助等の待ち時間の付き添い
・理容院・美容院、買い物などの付添い
・散歩や社会参加のための外出介助
・見守り・話し相手



「より良いサービスを提供するために」本会事業所の取り組み!

①かわさき健康幸福プロジェクトへの参加

～29年度「なかはら訪問介護支援事業所」「たま訪問介護支援事業所」が市長表彰を受けました～

ご利用者様の要介護状態の改善・維持に向け顕著な成果を上げたとして、川崎市より金色の認証シールを交付されました。

②職員のスキルアップ研修

介護技術や専門知識の習得をテーマとした研修の実施

③職場内情報共有のスピードアップ

ICT(情報通信技術)化に積極的に取り組み、携帯端末を使用して介護記録を作成

④福祉人材の育成・確保

生活援助(家事援助)サービスの担い手として地域で活動するために必要な知識を学ぶ「かわさき暮らしサポーター養成研修」を開催

※開催予定日 7月18日(かわさき会場) 7月26日(たま会場)



<健康幸福プロジェクト認証シール>
なかはら訪問介護支援事業所ケアマネジャー

本会では380名以上のヘルパーが活躍中です。一緒に働く仲間をお待ちしています。

ヘルパー応募・ヘルパー派遣・ケアプラン作成に関するお問い合わせは下記の事業所まで...

かわさき訪問介護支援事業所 Tel:044-222-7948
さいわい訪問介護支援事業所 Tel:044-556-5535
なかはら訪問介護支援事業所 Tel:044-722-7710
たかつ訪問介護支援事業所 Tel:044-814-1138

みやまえ訪問介護支援事業所 Tel:044-856-5827
たま訪問介護支援事業所 Tel:044-935-5916
あさお訪問介護支援事業所 Tel:044-952-4716



平成30年度 川崎市社会福祉協議会 事業計画

基本方針 4つの柱

1 組織経営計画の推進

本会の経営の安定的な経営基盤を確立するために必要な資源の調整・調達することを目的として、平成30年度から6年間の「組織経営計画」を推進します。

2 第4期地域福祉活動推進計画の推進

「住民主体による居場所づくりに向けた支援」「行政と協働による専門機関連携ネットワークの構築に向けた一層の取組」を重点的取組として位置付けます。計画の推進体制として、推進委員会を設置するとともに「地域包括ケアシステム推進連絡会議」を設置し、会員および関係機関・団体と連携して社協らしい地域包括ケアシステムを推進します。

3 区社会福祉協議会との連携

各区社協と連携や協働・情報提供を行い、市内の地域福祉活動推進の調整を行います。
市社協・区社協の新たな組織の在り方について検討し、市社協・区社協の協働による取組、人材育成や働き方改革推進に向けた検討を行います。

4 災害に関する取り組み

「災害発生時地域生活支援ガイドライン」に基づく関係団体との連携や災害ボランティアセンター設置・運営に向けた協働体制づくりを行います。職員の災害対策チームにより「事業継続計画」「職員行動マニュアル」に沿った発災時の職員配置の体制づくり、災害時の対応スキル向上などに取り組みます。

健全な組織経営のもと
地域福祉の
中心的推進役を
目指します



事業計画の内容

- 1 法人運営事業
- 2 調査・研究事業
- 3 職員研修事業
- 4 啓発、広報及び情報提供事業
- 5 区社協との連携・協働及び支援
- 6 団体等助成事業
- 7 部会・委員会事業
- 8 民生委員児童委員活動及び
川崎市民生委員児童委員協議会との連携・協働
- 9 福祉基金運営事業
- 10 資金貸付事業
- 11 社会福祉法人経営改善支援事業
- 12 共同募金運動の推進
- 13 指定管理事業
 - (1) 川崎市総合福祉センター
 - (2) 川崎市高齢社会福祉総合センター
- 14 受託事業
 - (1) 福祉パルの管理運営
 - (2) 福祉人材バンク事業
 - (3) 生活福祉資金貸付事業に関する広報・連絡調整
 - (4) 福祉サービス利用事業
 - (5) 地域包括支援センター事業の実施
(大師中央・溝口・登戸)
- 15 ボランティア活動振興センター事業
- 16 災害活動関連事業
- 17 川崎市あんしんセンター事業



【部会・委員会事業】
障害者週間（12月3日～9日）
キャンペーン
(写真は昨年の様子)



【福祉人材バンク事業】
福祉のお仕事相談会
(写真は昨年の様子)



【福祉サービス利用事業】
おでかけGO！
(高齢者外出支援サービス事業)
市内在住65歳以上で介護
保険要介護認定3以上の方
が、外出できるよう支援
しています。



【地域包括支援センター事業】
認知症カフェ「みかんサロン」
(溝口地域包括支援センター)
認知症の方やそのご家族が、地域の方々
や専門職とお互いに情報を共有し理解し
合う場となる喫茶スペースです。

18 地域生活支援SOSかわさき事業

- (1) 情報ネットワーク事業の実施
※市内社会福祉法人の自主的な地域公益活動
並びに市内福祉サービス等の情報の収集、発信
- (2) 連携ネットワーク事業の実施
※市・区連携ネットワーク会議の実施

19 社会福祉関係行事への協力

20 居宅介護等事業

21 公益事業

- (1) 川崎市高齢者外出支援乗車事業の実施
- (2) 川崎市総合福祉センター事業（再掲）
- (3) 地域包括支援センター事業の実施（再掲）
(大師中央・溝口・登戸)
- (4) 介護保険法に基づく居宅介護支援事業の実施
- (5) 川崎市内の保育士人材確保を目的とした
保育士修学資金貸付事業の実施
- (6) ひとり親家庭の自立の促進を図ることを目的とした
ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業の実施

平成30年度 予算

単位：千円

NO	事業種別	前年度当初予算額	本年度予算額	増減	主な事業
1	法人運営事業	864,404	740,348	△ 124,056	法人運営事業、退職金積立事業
2	調査・研究事業	1,484	949	△ 535	地域福祉活動推進計画、調査・研究事業
3	研修事業	262	231	△ 31	職員等研修事業
4	企画・広報事業	1,120	1,250	130	社会福祉大会、広報事業
5	区社協推進事業	210,339	212,294	1,955	区社会福祉協議会活動補助
6	助成事業	25,461	24,697	△ 764	ふれあい活動支援事業等各種助成
7	部会・委員会事業	7,892	12,117	4,225	各部会・委員会事業
8	福祉基金運営事業	55,948	25,700	△ 30,248	基金積立、果実による助成事業
9	資金貸付事業	202,078	568,235	366,157	社会福祉法人経営改善支援等事業、保育士修学資金貸付事業
10	共同募金配分金事業	78,716	77,290	△ 1,426	広報活動、区社会福祉協議会事業補助
11	指定管理事業	363,464	364,513	1,049	総合福祉センター、高齢社会福祉総合センター
12	受託事業	334,605	255,720	△ 78,885	福祉人材バンク・福祉サービス利用事業等受託事業
13	ボランティア活動振興事業	12,400	11,444	△ 956	ボランティア活動振興センター事業
14	あんしんセンター事業	149,831	143,732	△ 6,099	金銭管理サービス事業、書類等預りサービス事業、成年後見事業
15	居宅介護等事業	1,458,223	1,257,196	△ 201,027	訪問介護・障害者居宅介護ヘルパー派遣事業、居宅介護支援事業
16	高齢者外出支援乗車事業	2,208,582	2,141,627	△ 66,955	高齢者フリーパス交付等事業
17	金品援護事業	1,000	1,000	0	寄付の受入
18	地域生活支援SOSかわさき事業	960	930	△ 30	地域生活支援SOSかわさき事業
	合 計	5,976,769	5,839,273	△ 137,496	

第39回九都県市合同防災訓練（平成30年度 川崎市総合防災訓練） ～平成30年度は川崎市で開催します～

川崎市を含む九都県市（埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市、相模原市）には、政治・経済などの中枢機能が集積していますが、「首都直下型地震」等の発生が懸念されており、地震による被害が各方面に及ぶ事が懸念されています。

そのため、九都県市相互の連携体制の強化を図るとともに地域住民一人ひとりの防災知識や減災への備えの向上を目指し、毎年、合同防災訓練を実施しています。平成30年度は、川崎市が九都県市合同防災訓練の幹事都市となっており、川崎区東扇島で訓練を開催します。

川崎市社会福祉協議会では、九都県市合同防災訓練（川崎マリエン会場）の中で、川崎区社会福祉協議会と共催で「災害ボランティアセンター設置運営訓練」を行います。

当日は、災害ボランティアセンターの設置運営全般に関わる訓練、実際の災害ボランティアセンターの活動紹介（パネル・映像など）を予定しています。

開催日時・場所

関心がある方は、
下記までお問い合わせください

日時

平成30年9月1日(土)10:00～12:00
※川崎マリエン会場は10:00～13:00

会場

東扇島東公園・川崎マリエン ほか
※「災害ボランティアセンター設置運営訓練」は、
川崎マリエン会場

■お問合わせ

ボランティア活動振興センター
TEL:044-739-8718



29年度「川崎市総合防災訓練」
災害ボランティアセンター設置運営訓練の様子

社協が一丸となって取り組む「地域包括ケアシステム」

～地域包括ケアシステム推進連絡会議キックオフ～

平成30年3月12日。川崎市医師会館ホールにて「川崎市社会福祉協議会地域包括ケアシステム連絡推進会議キックオフ」を開催しました。

平成30年度に設置する「地域包括ケアシステム推進連絡会議」に先駆けて開催したもので、区・地区社協役員、民生委員・児童委員、保護司、当事者・ボランティア団体、社会福祉法人、社会福祉施設などから133名が参加しました。

福田市長特別公演



福田紀彦川崎市長による特別講演では、地域包括ケアシステム推進の第二段階として行政、町内会・自治会、地域・ボランティア団体、住民などによる具体的な取組が始まる中、特に地域包括ケアの認知度の向上と多世代の交流が重要であると示されました。こうした地域を作り直す大変な作業にチャレンジするにあたり、行政と社協の連携がより深まることを期待すると述べられました。

川崎市社会福祉協議会佐藤会長 キックオフ宣言

その後、佐藤忠次会長より、本会の関係者が地域包括ケアシステムの推進に意識を同じくして、一丸となって取り組むことを期して、推進連絡会議のキックオフを宣言しました。



平成30年度より

「川崎市社会福祉協議会地域包括ケアシステム推進連絡会議」を設置します。

川崎市では「高齢者、障害者、子ども、子育て中の親、現時点でケアの必要がない方など、全ての地域住民を対象とした地域包括ケアシステムの構築」を目指しています。

本会でも、福祉関連法に基づいた福祉サービスを提供するだけでなく、「住民主体による居場所づくりに向けた支援」「行政と協働による専門機関連携ネットワークの構築に向けた一層の取組」を重点的に遂行し、川崎市にお住まいの全ての方々が互いに支え合う関係づくりの構築を目指し、一丸となって取り組んでいきます。

その実現に向け、平成30年度より、本会各部会（地区社協・福祉施設・民生委員児童委員・保護司・障害者団体・ボランティア団体など）の代表者を主として構成された「川崎市社会福祉協議会地域包括ケアシステム推進連絡会議」を設置し、関係機関・団体間が検討・協議する場をつくっていきます。

30年度協賛会員募集中

本会の地域福祉活動の推進に対し、会費を通じてご協力いただく法人・団体による資金参加型会員の協賛会員を募集しております。年会費は5,000円以上でご協力いただける金額となります。詳細につきましては、お問い合わせ下さい。（平成30年6月1日現在）（順不同）

平成30年度協賛会員

- セレサ川崎農業協同組合
- 株式会社川崎フロンターレ
- いづみ文具株式会社
- 川崎信用金庫
- 株式会社ホテル精養軒
- 野村證券株式会社 武蔵小杉支店
- ジェクト株式会社
- 株式会社ジャパウイン
- 株式会社セレモニア
- 株式会社エコロジカルプレゼンツ
- デュプロ株式会社 横浜営業所
- 東横システム株式会社

■お問い合わせ 庶務課 TEL:044-739-8710 FAX:044-739-8737

川崎市社会福祉協議会ホームページのご紹介



川崎市の福祉に関する情報が知りたい時は、

「川崎市社協」で検索！

(<http://www.csw-kawasaki.or.jp/>)

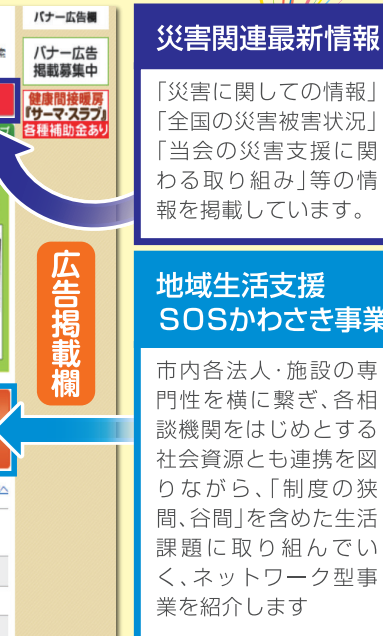


川崎市の「福祉情報」はここを検索！
ふくみみ

福祉サービスの情報を知りたい！

福祉に関する図書・DVDを借りたい！

福祉に関する研修情報を知りたい！



例えばこんな時は… ここをクリック



広告掲載を募集しています

本会ホームページ、本会広報紙「川崎の社会福祉」に掲載する広告（バナー広告）を募集しています。福祉に関する製品・サービスの宣伝、イベントの案内等にぜひご活用ください！

詳細は・・・本会ホームページ内検索サイト「広告」で検索ください。

■お問い合わせ 企画課 TEL:044-739-8711

寄付御礼

たくさんのご寄付をありがとうございます

（平成30年3月3日～平成30年6月1日）（順不同）

川崎市社会福祉協議会の地域福祉活動へのご寄付

- 月の光グループ 様
- 東急リゾートサービス・石勝エクステリア共同事業体 川崎国際生田緑地ゴルフ場 様

福祉基金へのご寄付

- スタジオ歌道楽 月井 勝美 様

～川崎市高齢社会福祉総合センターからの研修のお知らせ～

介護普及啓発福祉情報ミニ講座

「自分でできる筋膜リリース」さらば肩こり&腰痛！

「筋膜」を正しく整えることで、腰痛や肩こりを解消したり、寝たきりになることを防ぐことができます。この機会にあなたも筋膜をリリースする体験をしてみませんか。

- 日時 平成30年10月9日(火) 14時～16時15分
- 会場 高津市民館(ノクティ2)12階大ホール(高津区溝口1-4-1)
※JR武蔵溝ノ口駅・東急溝ノ口駅より徒歩2分
- 講師 竹井仁氏(首都大学東京大学院教授)
- 対象 川崎市内在住の方
- 定員 400名【当日先着順】
- 受講料 無料
- 申込みは不要です



竹井仁先生

「世界一受けたい授業」等、多数のメディアで大活躍されている徒手療法のスペシャリスト、筋膜博士の竹井仁先生の講演会です！
お問い合わせは下記へ。



高齡センターキャラクタープラン

介護職員初任者研修のご案内

介護の仕事に就きたい方、また介護の仕事に就いている初任者向けの研修です。
介護職員に必要とされる基本的な知識や技術を学び、仕事に活かしましょう！

- 受講期間 平成30年11月20日(火)～平成31年3月1日(金)全26日間
※全26日間。概ね週2日(火・木曜日)。
※11月2日もしくは5日の事前説明会(10時～正午)に必ず御参加ください。
- 会場 川崎市高齢社会福祉総合センター(多摩区長沢2-11-11)
※川崎市バスまたは小田急バス「聖マリアンナ医科大学」下車徒歩3分
- 対象 川崎市内在住または市内で介護業務に従事することを希望する方もしくは介護等業務を行っている方で、心身ともに健康で研修の全日程を受講することができる方
- 定員 24名【応募者多数の場合抽選。市内就労希望者を優先】
- 受講料 51,000円



【申込方法】

指定の申込用紙に必要事項を記入し、下記申込み先まで郵送ください。申込用紙は8月から、区役所・市民館・図書館等にあるチラシに掲載しています。また川崎市高齢社会福祉総合センターのホームページ(<http://www.kourei-c.jp>)からもダウンロードできます。

高齡センターキャラクター ケンケン

■お問い合わせ

川崎市高齢社会福祉総合センター
〒214-0035 川崎市多摩区長沢2-11-1
TEL:044-976-9001 FAX:044-976-9000

8月11日(土)は、川崎市総合福祉センター(エポックなかはら)電気設備点検のため全館休館いたします。

■編集・発行

社会福祉法人 川崎市社会福祉協議会

住 所: 川崎市中原区上小田中6-22-5 TEL: 044-739-8710 FAX: 044-739-8737
E-mail: info@csw-kawasaki.or.jp HP: <http://www.csw-kawasaki.or.jp>

広報紙「川崎の社会福祉」に掲載する広告を募集しています。詳細はお問い合わせ下さい。

発行: 年4回(4・7・10・1月1日)

年間購読を希望される方は、82円切手4枚をお送り下さい。